

臨床研究「口腔がん患者の頸部リンパ節転移と予後に関する検討」について

筑波大学附属病院歯科・口腔外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

口腔がんの頸部リンパ節転移は腫瘍の進行に伴いしばしば認められ、予後に関連する因子です。標準的治療は手術で頸部郭清術が施行され、摘出したリンパ節転移の状態はN分類で示され、結果により術後治療として放射線治療、化学療法が行われます。最近、転移リンパ節数/摘出リンパ節数で表した lymph node ratio (LNR)が予後と明確に関連するとの報告があります。

従来 of N 分類よりも LNR は予後予測因子となる可能性があるため、手術の病理検査結果より LNR を算出し、予後および生存期間に関して検討し、今後、予後改善のための追加治療が必要か検討することを本研究の目的としました。

② 研究対象者

2009年1月1日から2018年12月31日までに当院で口腔がんのため頸部郭清術を施行した患者さんが対象です。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年12月31日まで

④ 研究の方法

口腔がんのため頸部郭清術を行った患者さんについて、年齢、性別、TNM分類、Stage分類、病理所見、治療法、生存期間、局所、頸部再発、遠隔転移等を診療録から後ろ向きに調査します。病理結果から、摘出リンパ節数、転移リンパ節数、リンパ節外浸潤の有無などからLNRを算出し得られたデータを用いて、予後との関連を統計解析します。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

病理検査結果、治療後の経過、再発などの診療記録

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

山縣 憲司

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 顎口腔外科学

准教授

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されて

いる場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：歯科・口腔外科・山縣 憲司

電話・FAX：029-853-3870（平日 9～17 時）